



災害から生命と財産を守る活動を
総合大学の**知**で応援します



防災シンポジウム



鹿大防災セミナー



防災士等人材養成授業



みなさんも
備えましょう



1 目的

～南九州から南西諸島の地域防災力向上のために～

南九州・南西諸島域は、これまで梅雨期や台風襲来期の猛烈な雨や風により、土砂崩れや洪水が発生し、生命や財産、社会基盤施設に対して甚大な被害を受けてきました。さらに、火山活動の活発な桜島、霧島山、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島をはじめとした火山を有する地域でもあり、豪雨、台風、火山噴火、地震、津波などに起因する多様な自然災害が大規模かつ複合的に発生する可能性の高い地域です。このような地域で、人々が安心・安全に暮らすことができるため、地域防災体制の確立とそれを支える総合的な防災研究・防災教育の推進が喫緊の課題となっています。そこで、鹿児島大学地域防災教育研究センターは、南九州・南西諸島域における災害の防災・減災を図るため、災害の実態解明、予測、防災・減災技術開発、防災教育、災害応急対応、災害復旧復興などの課題に対し、総合大学である鹿児島大学の強みを生かした学際的防災研究の成果を基礎として、地方公共団体や地域住民と連携した課題解決に取り組み、地域防災力の向上に貢献することを目指しています。

鹿児島大学地域防災教育研究センター長 酒匂 一成

2 推進体制

2011.6.28設置

鹿児島大学 地域防災教育研究センター

各学部・大学院等からの兼務教職員、特任職員

調査研究部門

- ▶ 豪雨、台風、火山噴火、地震、津波等に起因する多様な災害に関する調査研究
- ▶ 災害時の応急対応、災害医療、復旧復興策、防災対策、警戒避難等に関する調査研究

防災教育部門

- ▶ 本学の共通教育、小・中・高等学校、市民講座等における防災教育の企画・運営
- ▶ 地域防災の核となる防災リーダーの養成支援、防災士資格取得支援

地域連携部門

- ▶ 地方公共団体、地域住民と連携した地域防災に係る課題の解決
- ▶ 地方公共団体、自主防災組織、企業等からの防災に関する問い合わせに対応

連携

他大学
研究機関

国・県

市町村

気象台
防災機関等

鹿児島大学地域防災教育研究センター運営委員会委員

(任期:2026年3月まで)

センター長		酒匂 一成	理工学域工学系教授	
調査研究部門	部門長	寺本 行芳	農水産獣医学域農学系准教授	
		佐藤 宏之	法文教育学域教育学系准教授	
		齋田 倫範	理工学域工学系准教授	
		田松 裕一	医歯学域歯学系教授	
		升屋 正人	情報基盤統括センター教授	
防災教育部門	部門長	松成 裕子	医歯学域医学系教授	
		松田 史代	医歯学域医学系助教	
		日隈 利香	医歯学域医学系助教	
		福満 博隆	総合教育機構共通教育センター准教授	
		川端 訓代	総合教育機構共通教育センター准教授	
地域連携部門	部門長	黒光 貴峰	法文教育学域教育学系准教授	
		木村 至伸	理工学域工学系准教授	
		平 瑞樹	農水産獣医学域農学系助教	
		柳田 信彦	医歯学域医学系助教	
		特任研究員	田代 哲郎	地域防災教育研究センター
		特任専門員	宋 多情	地域防災教育研究センター



鹿児島地方気象台と協定締結
(2024.3.7)

3. プロジェクト

(2022~2027)

大規模複合災害に備えた学際的防災研究の推進と防災人材の育成



1 桜島大噴火による複合災害を中心とした文理横断的な災害・防災研究の推進

桜島大規模噴火前後の事象発生過程の調査、大規模火山噴火における複合災害の事例収集・分析とメカニズムの検討、市民生活、地域産業、インフラ等への影響評価を行う。

- 【実績】 ①降灰・地震の木造家屋への影響予測結果を踏まえた啓発リーフレットの修正(自治体と連携) ②大正噴火時写真のAIによるカラー化・紹介(県立博物館と連携)

2 災害・防災関係資料のデータベース構築と学内外への提供

災害・防災に関する研究成果、災害調査報告、防災に関する講演会等の資料など鹿児島大学オリジナル教材をデータベース化し、センターホームページを通じて学内外へ提供する。

- 【実績】 ①教材の制作(土砂・河川・地震・津波) ②災害調査報告書・事業報告書のHP掲載

3 大学の授業や講座等による防災士養成等防災人材の育成

共通教育科目「いのちと地域を守る防災学(社会人も可)」の授業を通じた防災士養成のほか、避難所運営ゲーム(HUG)による避難所生活支援や、災害時要配慮者支援スタッフへの研修会などを行う。

- 【実績】 ①前期又は後期のみで防災士資格受験が可 ②自治体で職員・住民によるHUG実施 ③児童・生徒・学生・留学生にWS実施 ④災害時要配慮者支援のため看護学生にWS実施

4 研究成果の地域への実装による地域課題に応える社会貢献

研究成果をシンポジウムやセミナー等で紹介するほか、地元と連携した防災活動の実施、自治体訪問やニーズ調査等で収集した課題の教員とのマッチングによる解決、さらには鹿児島地方気象台と連携した地域ニーズへの対応などにより、地域防災力の向上を図る。

- 【実績】 ①自治体と連携したシンポジウム等の企画・実施 ②セミナーの5回シリーズ化 ③教員紹介冊子の制作・紹介 ④町内会等の防災訓練で講演 ⑤気象台と連携したニーズ調査・授業・WSの実施

4 活動実績など

災害・防災に関するご相談をお寄せください

活動項目	活動内容
1 シンポジウム、セミナー、 ワークショップなど 	①気象台と連携した大雨防災又は津波防災ワークショップ(児童・生徒・住民ほか) ②学校での防災教育教材の活用(セミナー) ③桜島火山版又は原子力災害版の避難所運営ゲーム(ワークショップ) ④文化財を災害から守る(備えや保全の取組) ⑤みんなで考える防災～学校・家庭・地域の役割～
2 招待講演など 	①風水害に備える～地域で取り組む防災活動のヒント～ ②避難生活者の健康づくり支援 ③土砂・河川の災害や地震・津波・火山噴火の発生の仕組みと防災対策 ④防災意識に関する世論調査と日頃の心構え ⑤放射線の基礎知識と災害対応 ⑥津波・高潮のメカニズム ⑦南九州の気候変動の特性(特に梅雨期の降水量変動) ⑧障害児等支援スタッフに対する防災対策
3 指導・助言	①土砂災害警戒区域と防災対策 ②超高輝度・省エネ型FGHP(R)ライトの防災への活用 ③地滑りに関する現地調査と対策 ④災害時の情報手段の確保 ⑤災害時のUAV(ドローン)の利活用 ⑥精神病院入院患者の円滑な避難
4 自治体の委員会等	①土砂災害対策 ②河川の整備・改修 ③情報通信基盤の整備 ④文化財の復旧
5 高校への出前授業、 小中学校での講座等	①地震と災害 ②鹿児島島の自然環境と土砂災害 ③豪雨災害と防災(河川氾濫を中心に) ④理学療法の防災との関わり

自治体等から依頼を受けた活動実績(2023年度):件数135件、参加者4,588名

5 アクセス



産学交流プラザ(2階)
電車通り側

〒890-0065
鹿児島市郡元1-21-40
TEL: 099-285-7234
E-mail: bousai@kuas.kagoshima-u.ac.jp

